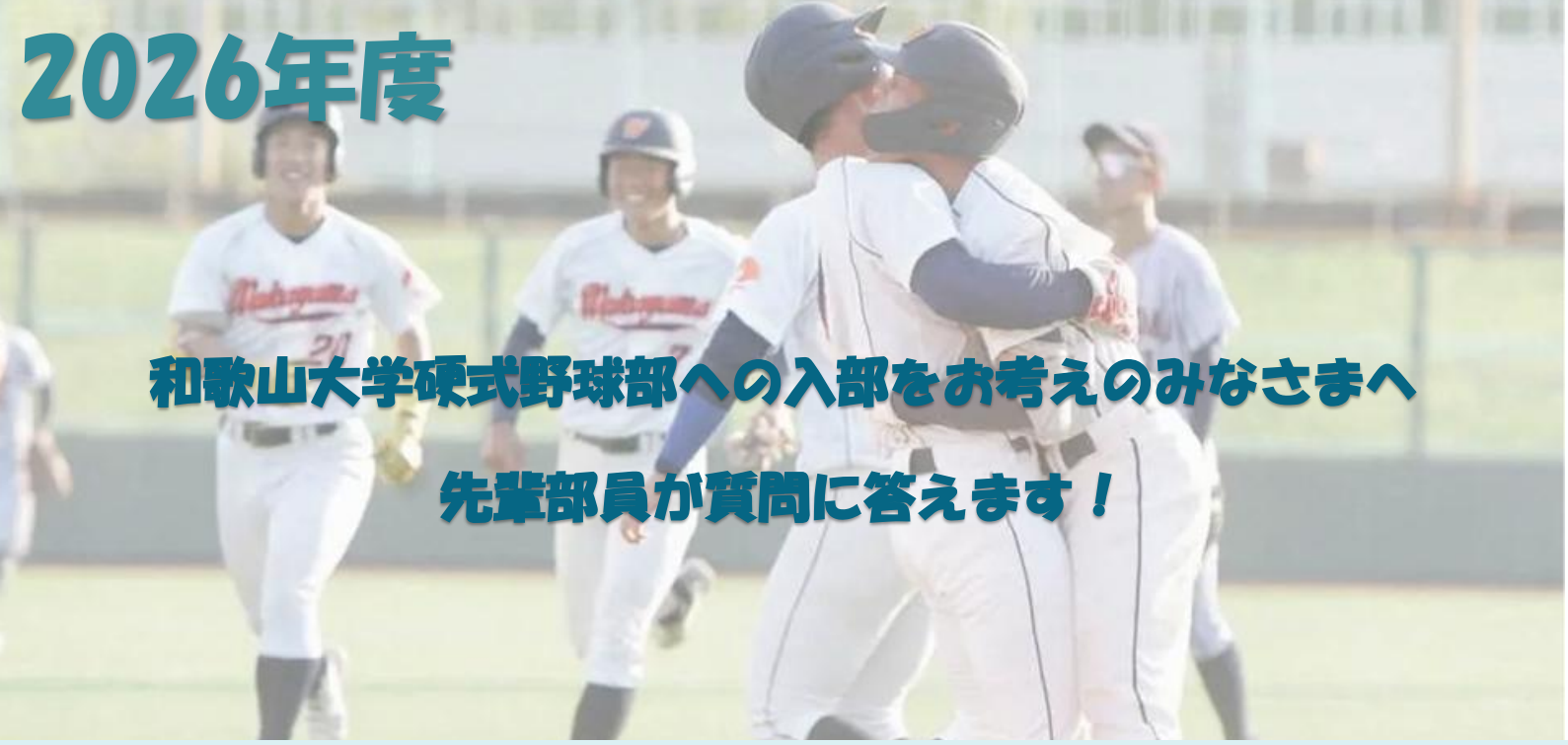


2026年度

和歌山大学硬式野球部への入部をお考えのみなさまへ

先輩部員が質問に答えます！

（※こちらは弊部独自のものであり、大学、そして大学入試課とは一切関係ありません。）

和歌山大学硬式野球部部員の入学受験方法(2026年7月現在)

〇推薦入試…経済学部学校型推薦：25 人

学校型推薦(スポーツ)：6 人、学校型推薦(簿記)：2 人

教育学部（地域【紀南】推薦枠)：3 人

教育学部（きのくに教員希望枠)：1 人

観光学部 総合型選抜：2 人

◎教育学部：5 人

◎システム工学部：2 人

◎観光学部：2 人

◎社会インフォマティクス学環：1 人

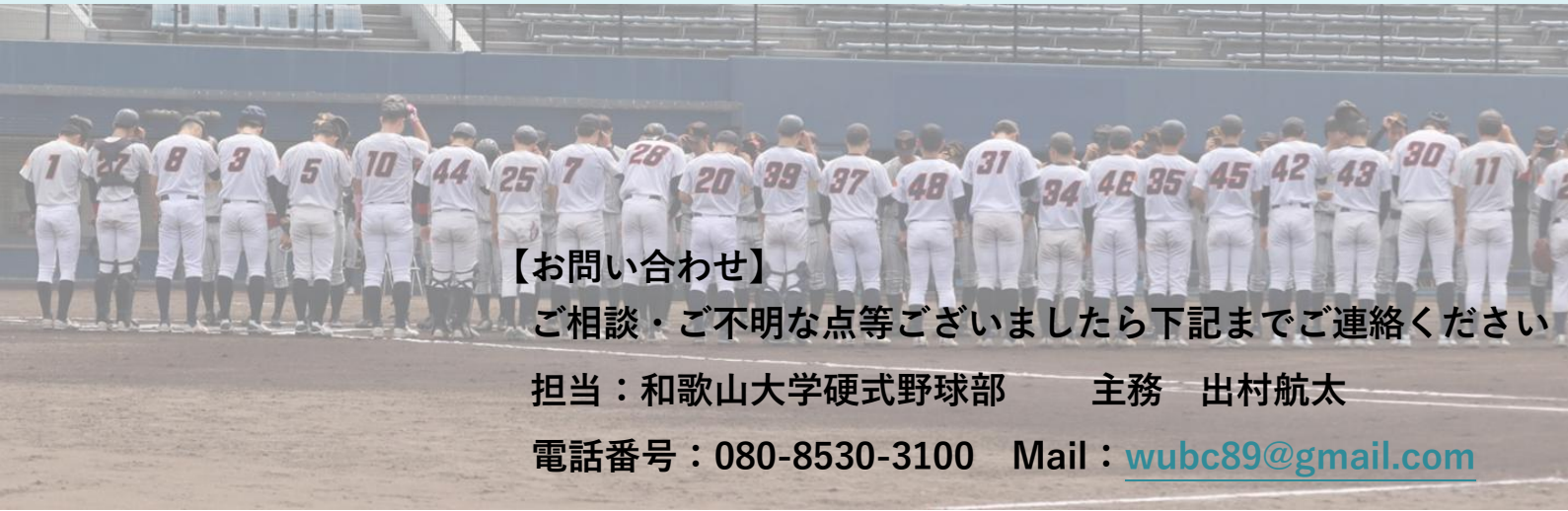
（↑◎印は大学入学共通テスト利用）

〇和歌山大学一般入試(前期/後期)…経済学部：9 人

教育学部(文系・理系・保健体育・美術又は音楽)：15 人

システム工学部：2 人

観光学部：3 人



【お問い合わせ】

ご相談・ご不明な点等ございましたら下記までご連絡ください

担当：和歌山大学硬式野球部　　主務　出村航太

電話番号：080-8530-3100　Mail：wubc89@gmail.com

経 済 学 部

3回生 金子紋乃丞（大阪・近畿大学附属高校）
観光学部 総合型選抜を受験
経済学部 学校型推薦で入学

◆経済学部の特色

経済学のみではなく、経営学、情報学、法律学など幅広い分野での学習ができます。また、テレビにも出演されている先生もいらっしゃるので専門的にも学ぶことができます。
経済学部は所属人数が多いため、授業でのグループワークなどを通じてさまざまな人と関わる機会が多く、自然と友人も増えます。友人がいることで、授業や課題のわからない点を教え合うことができ、多くの人にとって学習しやすい環境が整っています。
また、野球部の部員のうち**約半数が経済学部に所属**しているため、授業や課題、進路について気軽に相談できる先輩が多く、とても心強いです。

◆どんなことを勉強できるか

将来就きたいと思う職業に合わせてプログラムを選択し、専門的に勉強できます。また、将来やりたいことが決まっていなくても、自分の選択肢を増やすための勉強ができます。
また、経済学部ではオンライン授業が多く、たくさんのことを学びながらでも**自由時間を自分なりに活用**することができます。皆さんも経済学部で大学生活を楽しみましょう！

◆和歌山大学を目指したきっかけ

私の出身高校が近畿大学附属高校で、練習場所が近畿大学硬式野球部さんと隣接している環境でした。そして、私が２年春の時に、近畿大学さんのホワイトボードにVS和歌山大学と書かれていたのが始まりです。国立大学である和歌山大学が**全国の舞台で戦っている**ということに興味を抱いた私は、インターネットで和歌山大学のことを調べました。すると、記事の中にノーサイン野球や野球への考え方が記されていてこのような環境で野球がしたいと思い、和歌山大学を志しました。

◆受験学部を選んだ理由、複数の入試方法を経験して

初めに観光学部を受けたのは、和歌山大学に入るチャンスを少しでも増やしたかったからです。これを受験することで、観光学部総合型選抜、経済学部学校推薦型選抜、と推薦入試に落ちていても、経済一般入試で計3回チャンスを得ることができるという考えです。
観光学部総合型選抜の出願資格である英検二級の勉強を夏季大会中にしたのはしんどかったですが、それも、**与えられた環境で努力する**という良い経験になりました。また、観光学部総合型選抜対策で行った勉強が経済学部の学校推薦型選抜に活きたのでそれも良かったです。

◆プレゼンテーション、グループディスカッションのオススメ練習法

おすすめの練習方法としては**新聞記事やニュースに書かれていることを自分の言葉で説明できるようにする事です。**
これは、特に小論文に役立つと思います。経済学部学校推薦型選抜の小論文では数百文字以内で要約せよ。という問題が多く出題されています。これに慣れるためにも**日頃から自分の言葉で説明しようとする癖**をつける事が大事です。
練習方法とは少し違いますが大事なこととしては、とにかく経済に関する知識を覚える事です。共通テストを利用しない入試方法ですが、勉強量は共通テスト利用の生徒に負けないぐらいの気持ちで勉強することが合格する1番の方法だと思います。

4回生 入江隼平（宮崎・延岡高校）
観光学部 学校推薦型選抜を受験
経済学部 一般入試(前期)で入学

◆受験学部を選んだ理由、複数の入試方法を経験して

私は観光学部の学校推薦型選抜と経済学部一般入試前期試験を受験しました。和歌山大学に入学し硬式野球部に入部することを目指すにあたって自分にとって有利になると考えこの二つの受験方式を選びました。観光学部の学校推薦型選抜では、面接と共テの英・社利用で社会が得意であると理由で受験しました。しかし、今思うと**英語と面接**を学校側は重視していたと思います。**観光学部で学びたいこと、卒業してやりたいことのビジョン**をしっかり持っていないと厳しいと感じました。経済学部一般入試前期試験は、共通テストと英語をしっかりと固めておくと良いと思います。

◆和歌山大学を目指したきっかけ

私が、和歌山大学を目指したきっかけは大学でも野球を続けたいと考えたからです。高校野球を終えて不完全燃焼だった私は、大学でも野球を続けることを決意しました。そして、親や指導者と話し合う中で、**国立でレベルの高い野球**をしているところを目指すことにしました。それが、和歌山大学を目指したきっかけです。候補には九州の大学も上がりましたが、今まで育った環境とは違うところに身を置きたいと考え、和歌山大学を目指すことになりました。

◆共通テスト　オススメ勉強法

共通テストに向かって勉強するにあたって1番難しいことがモチベーションを持続させる事だと考えています。そこで、私が行った勉強法は100枚入りのルーズリーフを買って勉強したことを全て書きます。びっしりと書いたルーズリーフを捨てずに積み重ねていくと言うふうにやっていました。そうすることで、**自分の努力量が可視化され、モチベーションを持続する**ことができました。共通テストの時に**自分はこれだけやった**と自信を持つことが出来ました。

2回生 梅田征暉（北海道・駒澤大学附属苫小牧高校）
経済学部 一般入試(前期)を受験・入学

◆和歌山大学を目指したきっかけ

私が和歌山大学を目指したきっかけは、**国立大学が全国の舞台で活躍**するところを高校時代に見たからです。高校時代に直接的な関わりはありませんでしたが、高校の過去の先輩がキャプテンをされており、そのことも目指すきっかけの一つになりました。

◆オススメ勉強法

共通テストでは、**満遍なく6割から7割程度を目指す**ことが重要だと思います。二次試験に向けては英語と数学をしっかりと固めることだと思います。特に経済学部の試験は英数の2科目でかなりの点数になるので非常に重要です。英語は文法問題よりも長文読解。しかし、**最後は気持ち**です。絶対に受かってやるという強い気持ちを持って勉強を頑張ってください！

◆浪人生に向けて

私は**1年間の浪人生活**を経て和歌山大学に入学しました。日々の勉強で体力的に落ちる部分はあると思います。しかし、入部してすぐに実践練習ということはなく、まずは体力作りがメインになるので心配はありません。模試の成績や日々の勉強時間などで一喜一憂するかもしれませんが、そう言った日々も良い経験になるので**悔いのないように**日々の勉強に励んで下さい！

◆大学と部活の両立

授業がある期間は工夫をして授業を組めば、空いた時間でバイトや自主練習、休養に充てることができます。そのため、**時間の有効活用**ができて、充実した大学野球生活を送ることが出来ると思います。また、野球部部員の多くが経済学部に所属しているため、授業の課題で分からないことがあっても同級生や先輩などに教えてもらえるということも大きな強みだと思います。

教育学部

4回生 佐藤大和（北海道・札幌国際情報高校）
経済学部 学校推薦型選抜を受験
教育学部 一般入試(前期・実技系 保健体育)で入学

◆教育学部の特色

和歌山大学教育学部では、ただ教科を学ぶだけでなく、「子どもにどう寄り添うか」「どうやって学びをつくるか」を、実際の教育現場での体験を通して深く考えていきます。一回生の頃から実地研究という教育現場へ出向き、教師になるためのスキルを早い段階から身につけることができます。また、三回次にはアクション・タームという時間が設けられ本格的に教師を目指すものたちは、教育ボランティア活動であったり、実践的な学習を積む時間が作れたりすることができ、逆に教員から就活へと切り替える学生には就活をするための時間が十分に設けられるので、将来の進路についてはじっくりと時間をかけて考えることができます。一緒に自分の夢に向かって頑張りましょう！！

◆和歌山大学硬式野球部に入部して良かったこと

『さざれ石共巌となれ』という言葉があるように、一人ひとりの能力や技量が私立大学に劣っていても、一つにまとまり結集し野球を考えてプレーすることで、相手の100の実力のうち80、70までしか試合で出させない、相手に隙を与えないような下剋上とはまた違うかもしれませんが、這い上がり粘り強く勝っていく。そんな和歌山大学の野球が楽しいです。

◆受験学部の選び方、複数の入試方法を経験して

自分が合格する確率の高そうなものを受験していました。**和歌山大学の硬式野球部に入りたい**という強い意志があったのでその中でも早めに合否が決まる経済学部の学校推薦型選抜と学校の先生についても興味があったので学校推薦型選抜に落ちた時は前期で教育学部を受験するように準備を進めていました。二つの入試方法を経験して、二つの受験方式は全く異なり人よりも勉強の量が多くなることから大変な部分は多かったですが、**その分学ぶことも多かった**ので楽しかったです。

◆推薦入試から一般入試への切り替え方

わたしは、自分が入れる確率の高そうなものを片っ端から受験していきました。そんな中で推薦入試はおまけみたいな感覚で『合格してくれればラッキー』というくらいの心持ちでいました。もちろん推薦入試で合格できたらそれに越したことはなかったので、しっかり準備はしていました。入試形態は違えど、一般受験をする生徒よりも**一度チャンスが多かった**こともあり、次こそはという気持ちが高まって勉強に集中できたと思います。ダメだった時のことも考えて**、余裕を持って勉強計画を立てること**が大切だと思います。

◆保健体育入試　オススメ勉強法

いろいろな種類の体力テストや実技を組み込んだ二次試験となっているので、適度な運動はしておいて損はしないと思います。共通テストが終わるまでは息抜き程度でいいと思いますが、共通テストが終わったら体づくりに専念しておくと良いと思います。

2回生 太田哲雄（和歌山・熊野高校）
教育学部 学校推薦型選抜(地域【紀南】推薦枠)を受験・入学

◆和歌山大学を目指したきっかけ

和歌山大学硬式野球部が全国大会で活躍している姿をみたのがきっかけです。先輩方から考える野球やノーサイン野球の話を聞いたり、本を読んだりして和歌山大学硬式野球部の野球に憧れて目指しました。

◆和歌山大学硬式野球部に入部して良かったこと

最高に優しい先輩と最高に面白い同期に恵まれて野球ができることです。受験生の皆さんも僕たちと一緒に野球しましょう！

◆紀南推薦入試 オススメ勉強法

1番最初に対策した方がいいことは小論文だと思います。小論文は、とにかく多く書いて自分の書き方を作ることが大切です。面接は、毎年必ず聞かれることがあるので、そこは完璧に答えられるようにしましょう。また、調査書や志望理由書の中からも質問される場合があるので、書いたことや言ったことを深掘りされてもいいようにしておくと良いと思います。プレゼンテーションは、お題が送られてきたらすぐに取り組み繰り返し練習することが大切だと思います。3つの試験全てに共通する大切なことは、紀南や自分の地域、学校にしかない特徴を最大限に生かして地元愛をアピールすることだと思います。

◆オンとオフの切り替えについて

オフの日が少ないので、オフの日にはオフを満喫することで切り替えるようにしています。オフの日に実家に帰る事や地元の友達と会うのを楽しみにして練習を頑張っている部員もいます。

システム工学部

2回生 蔦原屋翔吾（大阪・近畿大学泉州高校）
システム工学部 学校推薦型選抜を受験・入学

◆システム工学部の特色

1番大きな特徴は**ダブルメジャー制**ということです。つまり、自分が学びたいことに加えてもう一つ専攻できます。3領域8メジャー制で種類が豊富です。そして、6年制という選択肢もあるので、より実践的に学ぶこともできます。

◆どんな事を勉強できるか

1年で工学を学ぶ基礎、2年以降でメジャーごとに専門分野を学びます。1年のときに、領域・メジャー紹介という講義があるので、入学してから何を学ぶかを考えることができます。

◆部活との両立について

理系の学部のため、テストで成績が決まることが多くなります。しかし、そこまで心配しなくても大丈夫です。テスト前は、テスト勉強のために部活を休むことができます。監督や部員からの理解があり、休みづらいことはありません。皆さんも和歌山大学硬式野球部で**文武両道**を実現させましょう！

◆学校推薦型選抜　おすすめ勉強法

1番は**共通テスト対策**です。面接の点数は、そこまで大きな差は出ないと思います。そのため、共通テストで点数を取れると、合格する可能性が高くなります。科目によって倍率が変わってきますので、重点的に取り組む教科を決めてもいいと思います。共通テスト対策でやっていて良かったことを挙げます。英単語をコツコツやっていたこと、過去問をたくさん解いたこと、模試や私立大学の公募試験で場慣れができていたことなどです。ただ、共通テスト対策だけではなく、**志望理由書**を早めに書いておくことをおすすめします。

観光学部

2回生 中田都希（石川・金沢二水高校）
観光学部 一般入試（前期）を受験・入学

◆観光学部の特色

観光学部は、観光学を構成する「観光経営」「地域再生」「観光文化」の3つの基本領域をコンセプトとした　1学科3コースからなる教育体系でカリキュラムが組まれています。**実践型教育**もとても充実しています。地域が抱える課題を住民とともに発見し、解決方法を考える地域インターンシップはとても魅力的なものになっています。また、**国公立の観光学部は和歌山大学しかない**為、全国から学生が集まってきています。　そのため、話してみると方言の違いや文化のちょっとした違いに気づきます。そういったところも観光学部ならではの特色だと思います！

◆どんなことを勉強できるか

観光学部は人間の生活・文化に関わるあらゆる分野を総合した学問であることから、人文社会科学から自然科学まで幅広い分野を**融合的・横断的に学ぶこと**のできる充実したカリキュラムがあります。そのため、自分が興味のある分野と観光の結びつきを学ぶことができます。また**ユニークな実践科目**もあります。私は入学してからの2年間で、茶道の授業を受講したり、ビーチで本格的なサーフィンの授業を受けたりしました。様々な分野を楽しみながら、本格的に高いレベルで学べることが観光学部の大きな魅力です！

◆観光学部を受験した理由

国際的な学びができることに興味があったことと、これから、日本の経済の中心となっていく観光を学ぶことに需要があると思ったからです。

2回生 戸田凪咲（岡山・岡山学芸館高校）
観光学部 総合型選抜を受験・入学

◆観光学部を受験した理由

高校時代に**地方創生**についての研究活動を行っていたこともあり、大学でも研究を続けたいと考え、和歌山大学の受験を決めました。また、プレゼンなど人の前で話す経験がほかの人よりも多く、この経験を生かすことができると考え総合型選抜での受験に挑戦しました。

◆マネージャーをしようと思ったきっかけ

私は高校時代、野球の詳しいルールすら知りませんでした。そんな私が野球に興味を持ったのは高校三年生の時に母校の硬式野球部が甲子園に出場したことがきっかけです。そして、和歌山大学に合格した後に、SNS で和歌山大学硬式野球部の存在を知りました。「日本一」を目標に努力し続ける選手やスタッフの姿を見て、**チームを支える存在になりたい**と考え、マネージャーとして入部することを決断しました。
運動部の所属経験すらない私がやっていけるのかという不安もありましたが、温かい先輩方に基礎から教わりながら日々奮闘しています。未経験でも、**やる気、熱意**があれば大丈夫です！共に「日本一」を目指しましょう！

◆総合型選抜 オススメ勉強法

志望理由書では高校での経験をどうやって大学での学びに活かしていくかを論理的に説明していく必要があります。**だれが読んでも理解できるか**、ということを心掛けて文章構成を考えていくと審査する先生に伝わりやすい文章になると思います。
二次試験では面接、プレゼンテーションを行います。面接は、主に提出書類で書いたことから質問されます。かなり深堀りされるので知識をつけて、論理的に説明できるようにしておくことが大切です。プレゼンでも論理的整合性を意識することが一番大切だと思います。質疑応答の時間が長いので、先に予想される質問の答えを考えておくことをおすすめします。また、プレゼンのテーマが発表されてからは二次試験まであまり時間がないので、一次の結果が出るころには面接の練習を済ましておくといいと思います。
総合型選抜では**論理的な考え**ができるかがかなり重視されます。しかし一番必要なのは**熱意**だと思います。観光学部に入りたいという熱意をどれだけ伝えられえるかが大事です！

◆観光学部の進路について

観光学部の進路は公務員、大学院、観光業、製造業、運輸業など多岐にわたります。観光学部では**様々な分野を学ぶ**ことができるので自分のやりたいことが実現しやすいと思います。将来やりたいことが決まっていなくても大丈夫です！様々な分野を学んでいるうちに自然と見つかると思います。

社会インフォマティクス学環

4回生 錦野哲平（青森・八戸学院光星高校）
社会インフォマティクス学環 学校推薦型選抜を受験・入学

◆社会インフォマティクス学環の特色

1つの分野に絞ることなく、経済学部、観光学部、システム工学部の授業を受けることができ、文系理系が入り交じっている少人数学部です。経済、産業、文化などの社会に対して、変革をもたらす情報技術により分析および把握を実践する人材の育成を目的とした**文理融合型**の学環です。

◆どんなことを勉強できるか

経済学、観光学、情報学やプログラミングなど、**幅広い分野**について学ぶことが出来ます。また、学部を横断した学びを行うことにより他学部には無い学習が出来ます。ミクロ経済学や観光マーケティングなどの経済学・観光学分野における主要な知識を身に付け多様な社会活動を把握・理解できる能力を養うことや、プログラミングや人工知能などの工学分野における情報技術を用いたデータ分析にかかる基盤となりかつ汎用性の高い能力を涵養することを目的とした科目です。
卒業の際には社会情報学の学士が授与されます。

◆社会インフォマティクス学環を受験した理由

もともと情報学に興味があり、それに加えて経済学や工学を組み合わせて学べるところに惹かれ受験しました。あとは少人数の学部ということで自分自身学びを深められると考えていました。**実際に凄く充実しているし人数が少ない分教員からのサポートも手厚く受けることが出来ています！**また、幅広く学べることで将来に不安を抱えている人も夢が見つかるかもしれません！

◆学校推薦型選抜　オススメの勉強法

共通テストの勉強(特に数学)にひたすら取り組むことです。数学は文系入試理系入試問わずに必須になる科目なので**数学でどれだけ差をつけられるか**が勝負の分かれ目だと思います！また、得意科目で取れるだけ点を取ってあげる方が効率がいいです！学校推薦型選抜では、5教科全てが点数に使われる訳では無いので**苦手な科目を克服するよりも得意科目を伸ばしてください！**

◆和歌山大学硬式野球部に入部してよかったこと

最高の仲間に出会えることです！
同期はもちろん、先輩や後輩もいい人ばかりなのでみんな仲良く、でも時に厳しく毎日の練習に励んでいます！
普段ずっと一緒にいる仲間と共に戦って手にする勝利の喜びは他の何にも変えることができません！
ぜひ和歌山大学で一緒に野球をやろう！！

受験生の皆さんも一緒に「日本一」を目指しませんか？

皆さんと共に戦える日を楽しみにしています！

和歌山大学硬式野球部　部員一同